

2020年度 学術研究員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	国外研究:主たる目的国	国内研究:主たる研究先	研究内容の概要	備考
法	教授	永田 憲史	短期 (6カ月)	2020.9.21 ～ 2021.3.22	—	関西大学、国立国会図書館、東京都公文書館、アジア太平洋資料室、京都府立京都学・歴史館、矯正施設(刑務所、少年院) 他	(1)これまでに公表してきた死刑に関わる研究業績をもとに、論文公刊後の状況を踏まえて補正し、論旨等を統一することに配慮しながら、著書刊行のために原稿をまとめる。 (2)資料を収集し、これまで取り組んできた死刑に関する研究を深化させる。 (3)普段赴くことのできない遠方の刑務所や少年院等の矯正施設の参観を行い、これまで関西大学法学論集に掲載してきたように、施設見学記録として公表すべく、原稿を用意する。	
文	教授	小倉 宗	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	—	関西大学、国文学研究資料館、国立公文書館、国立国会図書館、東京都公文書館 他	関東とならぶ拠点地域であった江戸時代の上方面において、幕府がどのような機構を作りあげ、そこでの法令と裁判がどのような内容や特徴をもっていたのかを実証的に明らかにする。またその際、幕府の機構や上方の法令・裁判に関する原史料(古文書)を幅広く調査・収集・分析し、そのうち未刊行で重要なものを翻刻(活字化)・紹介する。	
	教授	加戸 陽子	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	カナダ、ベトナム	関西大学 他	障害をともなう子どものニーズの把握と適した支援の検討に向け、主に以下の2点に関する研究を行う。 ・各種心理アセスメントによる認知特性および適応行動の検討 ・各種障害に関する認知特性、病態解明および支援に関する文献研究	
	教授	リコ-ヨコヤマ アドリアナ	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	フランス、キューバ、コロンビア、チュニジア	—	①言説分析研究の一環としての、今日のフランスにおける動物に対する意識に関する研究 ②フランスにおける社会階層の問題、及び自身が属する階層に対する自伝的語りに関する研究 ③複数言語主義・複数文化主義に基づいた、日本の外国語教育に関する研究	
経済	准教授	柏原 宏紀	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	イギリス、フランス、ベルギー他	関西大学、慶應義塾大学、東京大学 他	幕末から明治初年に洋行し官僚となった人びとがヨーロッパで何を見て、学んだのか、実際にイギリスなどに滞在し一部を体験しながら調査し、その上で、その調査結果も踏まえて彼らの帰国後の活躍をさらに検討し、彼らと深く関わった御雇外国人にも視野を広げつつ、これまでの研究を発展させる。	
	准教授	杉本 佳亮	長期 (1年)	2020.9.21 ～ 2021.9.20	イギリス	—	以下の三つの課題に取り組み、長期にわたる経済成長のメカニズムを探求する。研究Aとして、各国の歴史における「権威」と「権力」の関係がその国の政治体制や経済成長に果たしてきた役割について考察する。研究Bとして、出生行動の不可逆性および家計の教育投資に注目し、経済発展の過程において教育投資が過少から過剰の方向へ変化することを示す。研究Cとして、経済成長を促進する教育政策について、幼児教育と就学後教育との関係性に注目して考察する。	
	教授	北波 道子	短期 (6カ月)	2020.4.1 ～ 2020.9.20	香港、マカオ、中国、台湾、ベトナム、ラオス等インドシナ半島各国、インド、モンゴル、南アフリカ共和国、ドイツ、スイス等欧州各国 他	関西大学 他	アジア型の経済発展モデルは、輸出を主要な原動力とする工業化の実現過程であった。経済発展に伴って当該地域の産業は付加価値の低い工程から高い工程に移行し、前者は海外直接投資に伴って賃金のより低い地域へと移動してきた。本研究計画は、これらの海外直接投資の受け手から担い手へと変遷した台湾と中国の国際ビジネス展開の様相からアジアモデルにおける発展後の課題と可能性および世界経済への影響を考えるものである。	
商	教授	崔 相鐵	長期 (1年)	2020.9.21 ～ 2021.9.20	中国、タイ、韓国、ベトナム	—	・中国の新小売り革命の状況、アリババやテンセントなどの小売イノベーターのビジネスモデルの有り様、伝統的店舗とネット店舗間の融合模様など、中国の小売業界の実態調査を行う。 ・欧米日など先進国小売企業の中国市場での戦略を実地調査する。 ・タイ・香港など東南アジアのコングロマリット型小売集団の隆盛が華僑中心の人的ネットワークに起因するという仮説を中国および東南アジア現地にて検証する。	
社会	教授	宇城 輝人	長期 (1年)	2020.9.21 ～ 2021.9.20	フランス	—	フランスにおける労働保護や社会保障の社会思想、社会運動、立法の言説的編成を一次資料にもとづいて歴史社会的に研究する。社会統合をめぐる排除や排外主義の現代的諸相を実地調査を交えて研究する。反レイシズムの政治と言論の基盤をなす諸概念の生成過程をユネスコ所蔵の一次資料を分析して研究する。	
	教授	与謝野 有紀	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	—	関西大学、東北大学、東京大学、厚生労働省	社会階層論の視点に、社会関係資本論の視点を導入しながら、日本の自殺率の時系列変動、および都道府県間、市区町村間の横断的比較を行う。より具体的には、自殺率の要因分析を、伝統的な階層変数に加えて、地域における社会関係資本の量を説明変数に加えることによって行う。また、手法的には、一般化最小二乗法を適用し、時系列かつ横断的データ分析を一括して行うことをめざす。また、社会学分野ではこれまで利用されていない自己組織化マップの適用も試みる。	
	教授	橋本 理	短期 (6カ月)	2020.4.1 ～ 2020.9.20	イギリス、スペイン、イタリア、ベルギー、スイス、ドイツ、モロッコ	—	英国・EU諸国等において、公共経済・社会的経済・連帯経済に関わる事業諸形態に関する理論的および実証的な研究を進める。現地の大学・研究機関において資料収集を行い、関連諸団体において調査・資料収集を実施する。	

2020年度 学術研究員一覧

所属	資格	氏名	種別	期間	国外研究:主たる目的国	国内研究:主たる研究先	研究内容の概要	備考
政策創造	教授	浅野 宜之	長期 (1年)	2020.9.21 ～ 2021.9.20	インド、ブータン、バングラデシュ、ネパール	関西大学、名古屋大学、神戸大学、アジア経済研究所 他	1.南アジア諸国に焦点を当てた比較憲法および比較地方自治法研究 インドを中心に、バングラデシュ、ブータン、ネパールなどの南アジア諸国における憲法および地方自治法制について比較研究を行う。 2.インドおよびその周辺諸国における比較障害法研究 インドおよびバングラデシュにおける障害者関連法について比較研究を行う。	
	教授	原田 輝彦	短期 (6カ月)	2020.4.1 ～ 2020.9.20	イギリスを含む欧州連合現加盟諸国	—	欧州に於けるグローバリゼーションの現状と今後の課題	
人間健康	教授	西山 哲郎	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	イギリス、フランス、スイス	日本女子大学 他	2020年に東京で開催されるオリンピック・パラリンピック大会を、その準備段階と終了後のレガシー構築の過程を含めて、調査・研究を行う。 あわせて海外のオリンピック・パラリンピックの開催地や開催予定地を訪問して、現地の専門家と意見を交換し、大会のレガシー(遺産)を継承して、スポーツ文化の発展に寄与する道を明らかにする。	
	准教授	西川 知亨	短期 (6カ月)	2020.10.1 ～ 2021.3.31	フィンランド、アメリカ	京都大学 他	「ソーシャルワークとその教育法の社会学的再検討ーシカゴ学派の社会生態学の理論を補助線に」を研究テーマとする。さまざまな福祉の現場で実践され、また本学人間健康学部・福祉と健康コースをはじめ、社会福祉養成校などにおいて教育されている「ソーシャルワーク」を、シカゴ学派の社会生態学などの観点からとらえなおし、その教育法についても射程に入れた調査と研究を進める。これに関する書籍や論文などの執筆および発表を行う。	
総合情報	教授	植原 亮	長期 (1年)	2020.4.1 ～ 2021.3.31	—	大阪大学、東京大学、九州大学	社会存在論への自然主義的アプローチ	
化学生命工	教授	春名 匠	短期 (1カ月)	2020.8.9 ～ 2020.9.20	スウェーデン、ノルウェー、スイス、オーストリア、ドイツ、セルビア、ベルギー、アメリカ	—	・高強度金属材料の水素脆化に関する調査研究 ・高耐食性金属材料の応力腐食割れに関する調査研究 ・高耐食性金属材料の表面制御に関する調査研究	
法務	被選考者なし							
会計	教授	加藤 久明	短期 (6カ月)	2020.9.30 ～ 2021.3.31	—	関西大学 他	国際会計基準審議会(IASB)とアメリカの財務会計基準審議会(FASB)は、長年にわたる共同プロジェクトの成果として2016年に新しいリース会計基準を完成させた。新基準は、2019年から適用されている。そのため、日本でも、国際的な会計基準とコンバージェンスを図る観点から、企業会計基準委員会(ASBJ)がリース会計基準の見直しを進めている。そこで、このような国内外の状況をふまえ、リース会計基準の在り方について今後の検討に資する研究を行う。主な論点として、借手の会計処理についてはシングル・アプローチとデュアル・アプローチ、貸手の会計処理については最近の収益認識会計基準との整合性を検討する。	
心理学	被選考者なし							
教育推進	被選考者なし							

2020年度 学術研究員一覧

《新型コロナウイルス感染症の影響による計画変更》

所属	資格	氏名	種別	期間	国外研究:主たる目的国	国内研究:主たる研究先	研究内容の概要	備考
外国語	教授	池田 真生子	長期 (1年)	2021.9.21 ～ 2022.9.20	イギリス	—	・言語学習を自律的・継続的に実施するために、学習者方略および情意(不安、自己効力感、動機など)、協働学習がどのような役割を果たすのかを調査する。 ・小学校外国語授業でのメタ認知能力の養成の方法について調査する。	
	教授	小嶋 美由紀	長期 (1年)	2021.4.1 ～ 2022.3.31	カナダ、中国	—	①欧米諸国における中国語文法研究及び中国語教育の現状把握 ②(フィールドワークのための)音声学授業の聴講とスキル習得 ③中国語ムード体系の研究	
社会 安全	教授	亀井 克之	短期 (6カ月)	2021.10.1 ～ 2022.3.31	フランス、オランダ、イギリス、スペイン	—	パリ第一大学バンテオン・ソルボンヌ校、IAE/ソルボンヌ・ビジネススクール、地域とアントレプレナーシップ研究室(責任者:ディディエ・シャポー教授)を拠点に「フランス企業の経営戦略とリスクマネジメント」「地域社会と企業家活動」の研究を実施する。期間中、グルノーブル大学でデシャン教授と「事業承継」、モンペリエ大学でトレス教授と「健康マネジメント」、オランダ・エラスムス大学ロッテルダム校でチュリック名誉教授と「企業家活動」、英国RCAでホール教授と「Design for Safety」など、共同研究のための短期滞在をする。2021年に延期された6月IFERAスペイン・サンタンデル大会、7月ICSBパリ大会に参加する。	
国際	教授	山本 英一	短期 (6カ月)	2021.9.21 ～ 2022.3.22	ニュージーランド、オーストラリア	—	誠実な発話のみならず、不誠実な発話もまた、会話の推意(Implicature)の産出と解釈に関わっていること(山本(2018)『ウソと欺瞞のレトリック』)を念頭におきながら、語用論の一大テーマとも言える言外の意味(推意)研究を深める。同時にYan Huang氏の原著「Pragmatics」(オックスフォード大学出版局)の翻訳を進める。また、分析に必要な英語のデータ蒐集(ニュージーランド&オーストラリア)も行う。	